



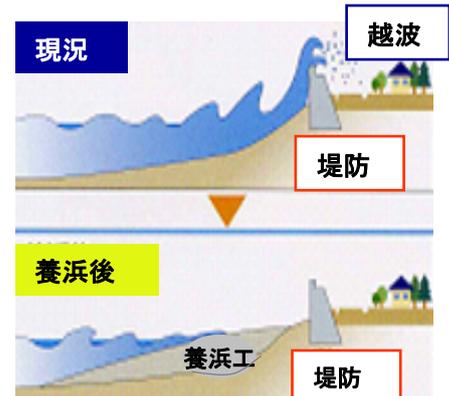
養浜工（ヨウヒンコウ）はなぜ必要なの？

養浜工とは、人工的に海岸沿いへ砂を投入することを言います。砂浜は美しい自然環境やレクリエーション施設として利用できるだけでなく、波の力を緩和する機能も持っています。しかし、近年は沿岸施設（漁港や防波堤など）による砂移動の遮断や、河川からの土砂供給の減少などにより日本各地の砂浜が消失してきています。このため、仙台湾南部海岸では砂の移動を抑制するヘッドランドと併せて養浜工を実施し、砂浜の回復を図っています。

養浜工の方法はいろいろありますが、仙台湾南部海岸では自然環境をできるだけ改変させないように、一カ所に砂を投入し、自然の波の力を利用した養浜工を実施しています。

また、ヘッドランドは砂の移動をある程度抑制できますが、やはり砂だけでは時間とともに減少してしまうため、昨年度から試験的に砂よりも少し目の粗い砂利（直径2.5～13mm）を投入し、砂の減少を緩和させる取組みを行っています。

なお、この砂利の投入は、一般に海中では砂や砂利などの直径が大きくなればなるほど移動できる水深が浅くなる性質を利用したもので、水深2mよりも深いところには移動しない大きさの砂利を利用しています。



～自然環境に優しい工法を採用しています～



養浜工の施工方法

- ①よく水洗いした砂利（13mm～2.5mmの非常に細かな砂利）を投入します。
- ②その後、積み上げた砂利をブルドーザーで先の方から、崩すように海に押し出します。
- ③最後に砂を一箇所に投入し、自然の波の力により養浜砂の形成を待ちます。

施工業者：菱中建設（株）の現場代理人さんからのコメント



この養浜工事により、以前のような砂のある海岸が戻り、いつの日か子供達、そして家族と一緒に楽しまれる砂浜ができたならば、工事を担当した私達にとっても大きな喜びとなって、ずっと思い出として残ることになるでしょう。

工程表

準備工（測量等）	7月～8月中旬
単粒碎石投入	8月中旬～9月中旬
砂の採掘・投入	9月中旬～12月末
後片付け	1月末迄

カメ吉さんの 教えて! Q&A

Q1. 養浜工の砂利や砂は、どこからどの位の量を運んでくるの??

A. 丸森町の碎石場から6000m³。10tダンプトラックで1200回、相馬港からは30000m³。10tダンプトラックで6000回運びます。

Q2. 浜辺に入れた砂は無くならないの??

A. ヘッドランドは砂が沖へ移動するのを止める働きがあるので、ヘッドランド周辺に投入した砂は溜まり易くなります。19年度から養浜工を施工し、右下の写真の様に砂が付いてきたのが分かります。



施工前

※赤線は昭和39年当時砂浜だった部分です。



施工後

現場見学

～公衆衛生組合連合会婦人部～

平成21年9月4日(金)に岩沼市公衆衛生組合連合会婦人部の24名の方々が山元海岸のS4号ヘッドランドの現場見学へいらっしゃいました。



～S4号ヘッドランド付近にて～

みなさん、お疲れ様でした。



ヘッドランドの周辺は立入禁止です!!



ヘッドランド周辺は、急な高波にさらわれる危険や沖に向かう強い流れ(離岸流)が生じやすいため、**非常に危険**です。また、ブロックは滑りやすく、転落・滑落するおそれがあります。**泳いだり、サーフィンをしたり、釣りをする場所ではありません**ので絶対に近寄らないでください。ご協力をお願いいたします。



工事のご紹介

8月に契約した工事は次の通りです。



工事名	請負業者名	工事期間	工事区間
岩沼海岸堤防工事	本田組	平成21年8月4日～平成22年3月25日	蒲崎地内
山元海岸S5号突堤工事	野村建設(株)	平成21年8月26日～平成22年3月25日	坂元地内

*** 工事期間中は周辺地域の皆様にご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い致します。 ***